

「産学連携学会 学金連携システム研究会 第10回研究会」 を北海道大学で開催しました

■日時：平成25年9月10日（火） 13:00～17:10 （研究会，セミナー）
18:30～20:10 （交流会）

■場所：研究会，公開セミナー 創成科学研究棟4階セミナー室B・C
<http://www.cris.hokudai.ac.jp/cris/location-access/>
交流会 サッポロビール倶楽部
http://www.hello-co.net/beer_club/

■プログラム：

【研究会】

13:00～13:45 学金連携システム研究会の今後について 意見交換

【公開セミナー】「地域におけるニーズと学金連携の役割について」

14:00～14:05 ごあいさつ 国立大学法人山形大学 小野 浩幸 教授
国立大学法人岡山大学 藤原 貴典 准教授

14:05～14:45 「産学金連携の動向～山形大学での取り組みを交えて～」
国立大学法人山形大学 大学院理工学研究科ものづくり技術経営学専攻
教授 小野 浩幸

【北海道からの事例紹介】

14:45～15:25 「北海道大学の産学官金連携活動と今後の課題」
国立大学法人北海道大学 産学連携本部 特任教授 末富 弘

15:25～16:05 「地域産業の活性化に向けた地域銀行の取り組み」
株式会社北洋銀行 地域産業支援部 副部長 宮内 博

16:05～16:45 「地域ニーズに合致した大学との新たな連携について」
大地みらい信金地域みらい創造センター 次長 倉又 一成

16:45～17:00 全体討論

18:30～ 交流会

■概要

第10回となる研究会は、北海道大学の末富先生や城野先生、北海道支部の全面的な協力を得て、研究会+公開セミナーとして北海道大学で開催されました。研究会や公開セミナーでは、北海道地域で行われている産学金連携活動の概況や今後の展望に関するお話を伺い意見交換すると共に、研究会会員が直面する課題について意見交換を行い、知見を広めることとしました。

研究会メンバー限りの研究会と地元の皆さんも参加できる公開セミナーの両方を開催し、公開セミナーは北海道支部と共同で開催しました。

研究会には13名、公開セミナーには地元の関係者など合わせて約40名が参加し、大変盛況で活発な意見交換ができました。

【研究会】

学金連携システム研究会の今後について、研究会メンバー13人が参加し意見交換しました。小野前代表、藤原代表の交代の挨拶に続き、研究会の今後の進め方について意見交換しました。当面は、東京と学金連携が盛んな地方との交互で開催して、事例に直に触れると共に、学金連携の実状について整理していくことで進めていくことになりました。



会場となった北海道大学創成科学研究棟



研究会の様子

【公開セミナー】

公開セミナーには、研究会のメンバーに加えて、地元の産学官金の関係者約30名が参加し（合計で約40名）、非常に賑わった公開セミナーとなり、地元での産学連携や学金連携への関心の深さが伺われました。

セミナーでは、まず、山形大学の小野教授（前研究会代表）から、学金連携の全国的な実情や動向について紹介して頂きました。引き続いて、北海道の事例として、北海道大学の末富弘氏から北海道大学での取り組み事例を、北洋銀行の宮内博氏から北洋銀行における地域活性化の取り組み事例について、大地みらい信金の倉又一成氏からは根室地区を中心とした大地みらい信金の事例などを紹介して頂きました。北海道では、各地域で学金の連携による地域や産業の活性化に向けた様々な取り組みがなされていることがわかり、今後の学金連携の活動を進めていく上で大いに参考になりました。また、全国から集まった学金連携システム研究会のメンバーと北海道地域で学金連携を進めている方々との活発な意見交換ができました。

交流会も約20人が参加し、ジンギスカンとビールを楽しみながら、意見交換や議論の続きがなされました。



公開セミナーの様子